

蒲郡市の弓道場での注意点（中学・高校生向け）

平成22年4月
蒲郡市弓道協会

1. 初めに

- ・学校の弓道場と違い、蒲郡市の弓道場には他校の生徒、一般の方、色々な人が集まって練習します。学校のルールだけで練習しているとトラブルのもとになります。
以下はルールの一部ですが、みんなが気持ちよく練習できるようにしっかり守って下さい。

2. 道場利用について

- ・弓道協会が予約している弓道場では（平日17:00～21:30 ※祝祭日は除く）、
体育センターの窓口でチケットを購入しないで練習できます。
この場合、弓道協会が発行している利用チケット（弓道競技力向上利用券：50円 緑色）
を使用してください。利用チケットは、**石井先生・小柳津先生**から購入できます。
練習する時は、利用チケットをチケット入れに入れて、
「弓道場利用チケット 使用表【中高生用】」に
日付・学校名・氏名を記入して下さい。
このチケットは、“技術力向上勉強会”（次頁にて説明）
の時にも使用できます。

弓道競技力向上利用券			
利用者氏名			
利用日	年	月	日
蒲郡市弓道協会印			
中学生・高校生・一般			

- ・弓道協会 道場利用カレンダー
弓道協会の弓道場予約状況・“月例射会”や“技術力向上勉強会”等の予定は、
第一弓道場の控えに「道場利用カレンダー」として掲示してあります。
また、蒲郡市弓道協会のホームページ（<http://gamagori910.sakura.ne.jp/>）で
確認する事もできます。
- ・中学生に関しては、危険防止の為に保護者の方に弓道場まで付いて来てもらって下さい。
（道場内で付き添ってもらう事も含まれています。
1組に1人の保護者が付いて来るように**体育協会から指示が出ています。**）
なお、“技術力向上勉強会”・“弓道教室”・“月例射会”の時は付き添い不要です。
- ・道場の倉庫には、無断で入ってはいけません。
（倉庫には体育協会・弓道協会の道具などが保管されています。
倉庫内にある弓・矢・弾などを、無断で使用してはいけません。
危険防止の為です。）

3. 射場内にて

- ・道場に来た時は、既にいる人たちへあいさつをして練習を開始しましょう。
- ・看的所に矢取りの人がいたら、出来るだけ射位に入らないようにしましょう。
また、取懸け・打ち起こしもしないようにしましょう。
(出来るだけ矢取りの人を待たせないようにしましょう。)
- ・射位に入る時は、本座にて揖ゆうを行います。
- ・審査席では正座で射を見ましょう。審判席は見物席ではありません。
(また審査席の縁に腰を掛けないように。)
- ・他人の道具をむやみに触らないようにしましょう。
- ・帰る時は忘れ物のないようによく確認して、あいさつをしてから帰りましょう。

4. 技術力向上勉強会について

- ・射技、体配の技術力向上を目標に、定期的に勉強会を行っています。
(時間 19:00~21:00 木曜日が基本ですが、一部火曜日があります)
- ・本年度の日程は、以下のようになっています。是非参加してください。

4月 8日(木)	4月22日(木)	5月25日(火)
6月 1日(火)	7月 1日(木)	7月 8日(木)
8月24日(火)	9月 9日(木)	9月30日(木)
10月14日(木)	10月28日(木)	11月11日(木)
11月25日(木)	12月 2日(木)	12月 9日(木)
1月13日(木)	1月27日(木)	2月 3日(木)
2月17日(木)	3月10日(木)	3月24日(木)

- ・勉強会の内容は、第一弓道場控えの黒板に掲示しています。
例：基本体・基本の動作、射法八節、審査の演習、模擬試合、模擬審査 など

5. 矢取りの仕方

- ・4射位引いたら、矢取りに行きましょう。
- ・矢取りは後ろの的から前の的に進みましょう。(後ろに下がりながらだと、矢に引っ掛かり、人の矢を壊してしまう危険性があります。)
- ・あわてず、ていねいに扱きましょう。(走らない。矢はまっすぐ抜く。)
- ・中あたった矢を抜く際は、的枠の上を手で押さえて抜きます。
- ・的枠に刺さって抜けない矢は無理に抜かず、的ごと外し(そこには予備の的をかけて)矢の持ち主に渡して矢を抜いてもらいましょう。
- ・抜いた矢は羽根を上に向けて運びます。
(下に向けて運ぶと、筈はずに土がつまることがあります。)